

第160期 決算のご報告

2021年4月1日

▶ 2022年3月31日

CONTENTS

ADEKA グループ経営理念

事業紹介

株主の皆様へ

報告セグメント別概況

トピックス

サステナビリティの取り組み

財務・非財務ハイライト

会社情報

ネットワーク・ホームページのご案内

ADEKA
Add Goodness

証券コード 4401

ADEKAグループ経営理念

新しい潮流の変化に鋭敏であり続ける
アグレッシブな先進企業を目指す
世界とともに生きる



ADEKAグループCSR基本方針

ADEKAグループは、
公正・透明な企業活動を通じて、
「技術」と「信頼」でステークホルダーの期待に応え、
持続可能な社会に貢献します。

ADEKAグループCSR基本方針は、持続可能な社会への貢献という観点から当社グループが経営とCSRを統合し、社会・ステークホルダーの期待に応え、企業価値向上を目指す基本姿勢を表現したものです。この基本方針のもと社員一人ひとりがCSRを実践し、サプライチェーン全体で企業の社会的責任を果たすとともに、様々な社会的課題に対し“素材”メーカーとして価値を提供します。さらには変化し続けるステークホルダーの期待に応え、本業を通じて持続可能な社会に貢献することで企業価値を高めていきます。

ありたい姿

ADEKA VISION 2030

持続可能な社会と豊かなくらしに貢献する *Innovative Company*

中期経営計画

ADX 2023

■ 基本方針

新しい社会環境に対応する経営基盤へ変革し、
利益を重視した持続的な成長を目指す

■ 基本戦略

- 収益構造の変革
- 新規事業領域の拡大による持続的な成長
- グループ経営基盤の強化

すべてのものは、今より良くできる。
 くらしに、さらなる豊かさや便利さ、安心をもたらすために。素材に、さらなる
 機能性や耐久性、環境性能をプラスする。私たちは、素材の価値を高める。
 そして、素材を「素材」に変える。私たちは、アデカです。



化学品事業

■ 樹脂添加剤

プラスチックの高機能化・長寿命化・
 資源循環に欠かせない各種添加剤を
 提供しています。



製品

ポリオレフィン向け添加剤、塩ビ
 用安定剤・可塑剤、難燃剤ほか

■ 情報・電子化学品

ICT社会に欠かせない先端技術を駆使
 した製品を提供しています。



製品

半導体材料、ディスプレイ材料
 ほか

■ 機能化学品

インフラから化粧品、トイレタリーな
 ど様々な分野に高付加価値製品を提
 供しています。



製品

水系樹脂、化粧品原料、潤滑油
 添加剤、プロピレングリコール
 ほか

食品事業

加工油脂や加工食品などを提供し、
 安心・安全で豊かな食生活の実現
 に貢献しています。



製品

マーガリン、ショートニング、
 ホイップクリーム、チョコレート
 用油脂、冷凍パイ生地ほか

ライフサイエンス事業

農業をはじめ、医薬や動物薬など
 を提供しています。また、再生医療、
 予防医療、生活の質向上をキー
 ワードに研究開発を進めています。



製品

農薬、医薬品、医薬部外品、
 動物用医薬品、木材用薬品、
 医療材料ほか

その他の事業

工場施設や設備プラントの設計、
 設備メンテナンス、物流業務、保
 険代理業務を中心に事業を進めて
 います。



サービス

プラントの設計・工事管理、
 不動産業、物流業、保険代理
 業ほか

第160期の業績は過去最高を更新 持続的な成長とさらなる企業価値の向上に努めます

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの第160期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の事業概況についてご報告申し上げます。

当期における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の防疫対策により経済社会活動が正常化に向かうなかで、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、オミクロン株による感染再拡大や部材不足による供給制約、原燃料価格の高騰が景気回復の下押し要因となりました。

中期経営計画「ADX 2023」をスタート 利益を重視した規模拡大への施策に着手

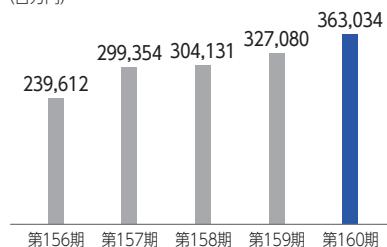
先行き不透明な状況が続くなか、当社グループは2030年のありたい姿『ADEKA VISION 2030 ～持続可能な社会と豊かなくらしに貢献する Innovative Company～』の実現に向け、昨年4月から3カ年の中期経営計画『ADX 2023』をスタートしました。基本戦略として掲げる「収益構造の変革」[新

規事業領域の拡大による持続的な成長]「グループ経営基盤の強化」のもと、利益の最大化を重視した規模拡大への転換を図るべく諸施策に着手しました。樹脂添加剤では、米国で建材向けや錫代替として需要拡大が続く塩ビ用安定剤の設備増強に着手しました。また、UAEでワンパック顆粒添加剤の設備増強を進めています。情報・電子化学品では、千葉工場ですべて先端フォトレジスト向け光酸発生剤など半導体周辺材料の増産投資、台湾艾迪科精密化学股份有限公司で先端ロジック半導体向け材料の新プラント建設を決定しました。また、化学品事業のさらなる拡大に向けた将来的な増産、新分野への発展性を見据え、韓国において全羅北道完州郡の工場用地取得を決定しました。機能化学品では、CASEやMaaSをキーワードにしたモビリティの進化に貢献することを目指し、車載用電子部品の高精度接着・固定を可能とするエポキシ樹脂接着剤の設備増強を三重工場を進めています。ライフサイエンス事業では、新規水稲用殺虫剤の国内外での本格販売に向け、インドでの製造設備の増強を進めています。

財務ハイライト

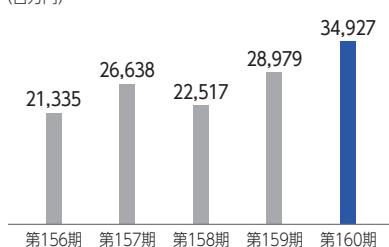
■ 売上高

(百万円)



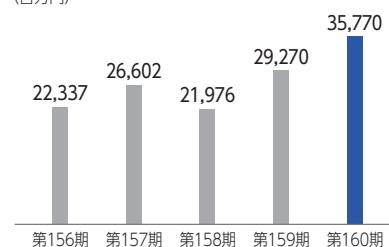
■ 営業利益

(百万円)



■ 経常利益

(百万円)



当期の業績は過去最高を更新 年間配当金は1株につき70円を予定

当期の業績につきましては、売上高は3,630億34百万円（前期比11.0%増）、営業利益は349億27百万円（同20.5%増）、経常利益は357億70百万円（同22.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は237億44百万円（同44.6%増）となり、いずれも過去最高を更新しました。

当期の期末配当金につきましては、当期の連結業績、財務状況等を総合的に勘案し、当初予想（2022年2月10日公表）の1株につき34円から8円増配し、42円とさせていただきます。年間配当金につきましては、1株につき70円（前期48円）となります。

第161期の配当金につきましては、1株につき年間70円を予定しています。

カーボンニュートラルの実現を目指し 「サステナビリティ推進室」「カーボンニュートラル戦略企画室」を新設

『ADX 2023』の2年目となる第161期は、引き続き、基本戦略として掲げる「収益構造の変革」「新規事業領域の拡大による持続的な成長」「グループ経営基盤の強化」を推進し、

さらなる企業価値の向上に努めてまいります。また、2022年4月に新設した「サステナビリティ推進室」「カーボンニュートラル戦略企画室」を中核とする推進体制のもと、全社横断的な取り組みを推進し、カーボンニュートラルの実現を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

2022年6月

株式会社ADEKA
代表取締役社長

城 詰 秀 尊



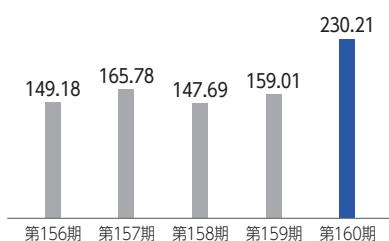
■ 親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)



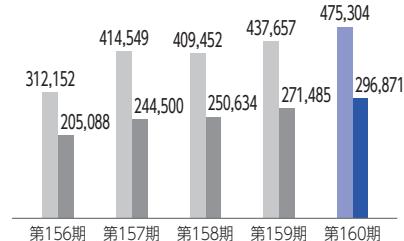
■ 1株当たり当期純利益

(円)

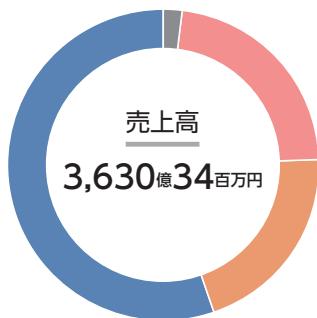


■ 総資産／純資産

(百万円) ■ 総資産 ■ 純資産



報告セグメント別概況



第160期報告セグメント別売上高構成比

化学品事業	55.1%
食品事業	20.2%
ライフサイエンス事業	22.6%
その他の事業	2.1%

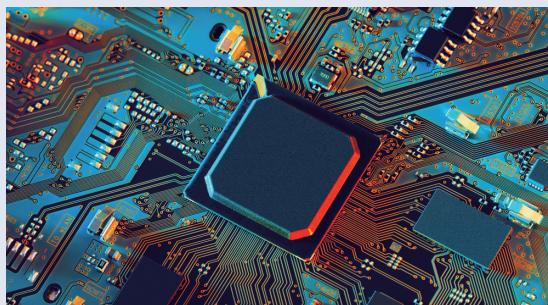
化学品事業

売上高 2,001億19百万円 (前期比13.8%増)

営業利益 293億47百万円 (前期比44.2%増)

売上高 (億円)

営業利益 (億円)



樹脂添加剤

自動車向けでは、核剤の販売が堅調に推移し、光安定剤の販売は伸長しました。

建材向けでは、塩ビ用安定剤の販売が好調に推移しました。また、インフラ用途で重金属フリー安定剤の販売が好調に推移しました。

食品包装・医療用途向けでは、透明化剤等の販売が海外を中心に堅調に推移しました。

自動車や家電、日用品等のプラスチック製品に幅広く使用される酸化防止剤は、販売が好調に推移しました。

難燃剤は、家電筐体に使用されるエンジニアリングプラスチックの堅調な需要に支えられました。また、ポリオレフィン樹脂向けも販売が順調に拡大しました。

情報・電子化学品

半導体向けでは、最先端のDRAMに使用される高誘電材料、NAND向け製品の販売が好調に推移しました。また、EUVやArFなどの最先端のフォトリソ向けに光酸発生剤の販売が順調に拡大しました。

ディスプレイ向けでは、液晶ディスプレイ用エッチング薬液、カラーフィルター向け光重合開始剤、光学フィルム向け光硬化樹脂の販売が好調に推移しました。

機能化学品

自動車向けでは、エンジンオイル用潤滑油添加剤やタイヤ用スチールコード伸線潤滑剤、特殊エポキシ樹脂やエポキシ樹脂接着剤の販売が好調に推移しました。

一般工業向けでは、建築塗料や粘・接着剤向けに反応性乳化剤の販売は国内外で好調に推移しました。また、プロピレングリコール類は工業用、パーソナルケア用ともに堅調に推移しました。

食品事業

売上高 **733億37**百万円 (前期比4.7%増)

営業利益 **▲6億86**百万円 (前期比-)

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



製パン、製菓用のマーガリン、ショートニング、フィリング類は、国内での菓子パン需要が回復し前期に比べて販売は堅調に推移しました。利益面ではパーム油等の植物性油脂に加え、動物性油脂の価格が日を追うごとに未曾有の高値を付けるなかで、先例のない3度の価格改定を断行しましたが、国内外ともに極めて厳しい結果となりました。

洋菓子用では、量販店やコンビニのデザート向けにホイップクリームの販売が好調に推移しました。



ライフサイエンス事業

売上高 **818億99**百万円 (前期比14.6%増)

営業利益 **56億95**百万円 (前期比5.7%減)

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



農業は、国内では、2021年10月からコルテバ社製品の販売を開始したことなどから、国内全体の売上高は前期を上回りました。海外では、米州、アジア等での販売が好調でした。

医薬品は、新型コロナウイルス感染拡大の影響から来院患者数が低迷したことなどにより、外用抗真菌剤「ルリコナゾール」の販売が低調に推移しました。



TOPICS 1 カーボンニュートラルロードマップの策定

温室効果ガス(GHG) 排出量削減の目標値を上方修正し、
2050年：カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを加速

カーボンニュートラルロードマップを策定し、2030年の目標値を上方修正

カーボンニュートラルロードマップの策定

ADEKAグループは

「事業活動に伴うGHG排出量削減」

「技術・製品の創出によるGHG削減貢献」

により2050年：カーボンニュートラルの実現を目指す

CSR優先課題「地球環境の保全」のKPI見直し

2030年のGHG排出量削減【Scope1,2】

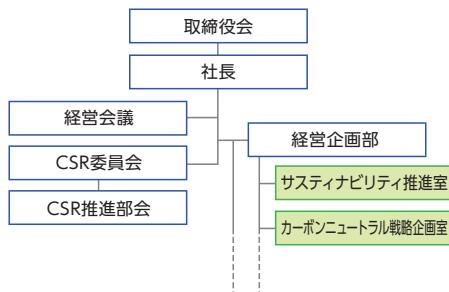
46%削減 (2013年比)

従来の目標 12%削減 (2013年比)

CSRの取り組み

カーボンニュートラルの推進に向けた新たな組織体制を構築

当社の新組織体制



カーボンニュートラルの実現とサステナブル経営による持続的な成長を目指し、グループ全体で機動的に取り組みを推進していくことを目的に、「サステナビリティ推進室」と「カーボンニュートラル戦略企画室」を2022年4月1日付で設置いたしました。

ADEKAグループでは、「2050年：カーボンニュートラルの実現」を目指しています。機動的に取り組むための組織体制を構築し、事業活動に伴うGHG排出量削減はもちろんのこと、これまで培ってきた技術力でイノベーションを発揮し、全く新しい技術・製品でGHG削減に貢献することで、社会価値と経済価値双方の最大化を追求してまいります。



詳しくは、IRライブラリ、CSRページをご覧ください。

IRライブラリ <https://www.adeka.co.jp/ir/library/>



CSRページ <https://www.adeka.co.jp/csr/>



TOPICS 2 気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 提言への賛同



ADEKAグループは、中期経営計画『ADX 2023』において、カーボンニュートラルをはじめとする新しい社会ニーズを捉え、社会価値と経済価値の双方を追求することにより、持続可能な社会の実現とさらなる企業価値の向上に取り組んでおります。

世界的に脱炭素社会実現への取り組みが加速するなかで、当社グループは特に環境面においてCSR優先課題として掲げる「地球環境の保全（温室効果ガスの排出削減等）」「環境貢献製品の提供」を積極的に推し進め、サプライチェーン全体での環境負荷低減に貢献してまいります。

当社は、2022年2月、TCFDの提言への賛同を表明しました。今後はTCFDの提言に沿って気候変動が事業活動に与える影響と対応について、情報発信・開示の充実を図ってまいります。

CSRの取り組み

「健康経営優良法人2022（大規模法人部門）」に認定



2022
健康経営優良法人
Health and productivity

ADEKAグループは、CSR優先課題の一つに掲げる「人財活躍の機会拡大」への取り組みとして、2021年4月に『ADEKAグループ健康経営宣言』を作成し社内外へ表明しました。

2022年3月には、経済産業省と日本健康会議が実施する健康経営優良法人認定制度において「健康経営優良法人2022（大規模法人部門）」に認定されました。当社グループは「社員一人ひとりが会社の大切な財産である」との考えのもと、今後も健康の維持向上と安全にいきいきと働くことができる職場環境づくりに取り組み、健康経営を推進してまいります。

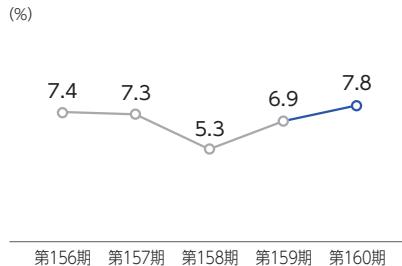
財務・非財務ハイライト

財務ハイライト

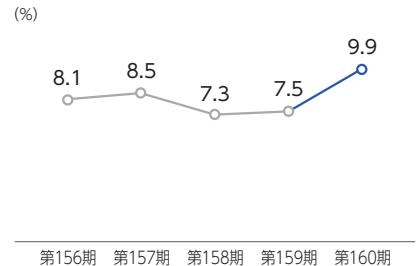
■ 営業利益率



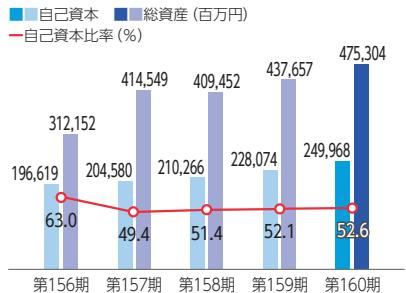
■ ROA (総資産経常利益率)



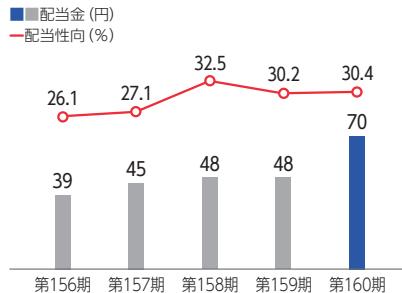
■ ROE (自己資本当期純利益率)



■ 自己資本／総資産／自己資本比率



■ 配当金／配当性向



中期経営計画『ADX 2023』では、適切な還元を総合的に勘案し安定配当の維持を基本とする考え方のもと、配当性向30%以上維持を掲げています。内部留保資金につきましては、さらなる事業拡大に向けた成長領域への投資や経営基盤の強化、カーボンニュートラルを意識した環境に資する投資等に活用してまいります。

当期の期末配当金につきましては、当期の連結業績、財務状況等を総合的に勘案し、当初予想(2022年2月10日公表)の34円から8円増配し、1株につき42円とさせていただきます。年間配当金につきましては、既に行なった中間配当金28円と合わせて1株につき70円(前期48円)となります。

次期の配当金につきましては、1株につき年間70円を予定しています。

非財務ハイライト

■ 温室効果ガス排出量



■ エネルギー使用量／原単位



■ 産業廃棄物発生量



会社情報

会社の概要 (2022年3月31日)

設立 1917年1月27日
資本金 23,048,145,172円
従業員数 5,466名(連結) 1,808名(単独)

取締役 (2022年6月24日)

代表取締役社長	城詰秀尊	取締役(社外)	永井和之
代表取締役兼 専務執行役員	富安治彦	取締役(社外)	遠藤 茂
取締役兼常務執行役員	小林義昭	取締役(社外)	堀口 誠
取締役兼常務執行役員	藤澤茂樹	取締役 常勤監査等委員	田谷浩一
取締役兼執行役員	志賀洋二	取締役 監査等委員(社外)	奥山章雄
取締役兼執行役員	芳仲篤也	取締役 監査等委員(社外)	竹村葉子
取締役兼執行役員	安田 晋	取締役 監査等委員(社外)	佐藤美樹
取締役兼執行役員	川本尚史		
取締役兼執行役員	角田憲康		

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月
基準日 定時株主総会・期末配当：3月31日
中間配当：9月30日
公告方法 電子公告。但し、やむを得ない事由によって電子公告することができない場合、日本経済新聞に掲載します。
単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

株式の状況 (2022年3月31日)

発行可能株式総数 400,000,000株
発行済株式総数 103,768,142株
当期末株主数 6,225名(中間期末比93名増)

大株主(上位10名)

順位	株主名	株式数(千株)	持株比率(%)
1	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	15,209	14.70
2	株式会社日本カストディ銀行(信託口)	7,750	7.49
3	朝日生命保険相互会社	4,053	3.92
4	みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者株式会社日本カストディ銀行	3,770	3.64
5	ADEKA取引先持株会	3,131	3.03
6	全国共済農業協同組合連合会	2,334	2.26
7	農林中央金庫	2,244	2.17
8	日本ゼオン株式会社	2,188	2.12
9	昭和興産株式会社	1,870	1.81
10	JP MORGAN CHASE BANK 385632	1,664	1.61

(注) 当社は自己株式330,484株を保有しており、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式事務手続きのお問い合わせ先

住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について

- 証券会社の口座に記録された株式に関するお問い合わせ先
株主様の口座のある証券会社等にお申し出ください。
- 特別口座に記録された株式に関するお問い合わせ先
三井住友信託銀行株式会社(特別口座管理機関)にお申し出ください。

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

グループ会社 (海外)

欧州
グループ会社
3社

アジア・中東
グループ会社
21社

日本
グループ会社
24社

北米
グループ会社
5社

ADEKA単体 (日本)

事業所 6拠点	生産工場 6拠点	研究所 4拠点
------------	-------------	------------

グループ会社 57社
連結子会社 39社

南米
グループ会社
4社



ホームページのご案内 <https://www.adeka.co.jp>

株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、積極的に情報開示を行っております。当社をよりご理解いただくためにも、ぜひアクセスしてください。

＼ オススメページ /

IRページ



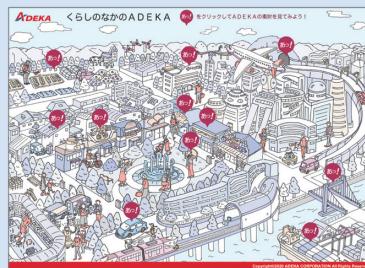
<https://www.adeka.co.jp/ir/>



くらしのなかのADEKA



https://www.adeka.co.jp/special_contents/



表紙デザインコンセプト

ADEKAは「Add Goodness」をコーポレートスローガンに、「素材」(価値ある素材)の提供を通じて豊かなくらしへ貢献しています。表紙では、私たちの扱う「素材」を、身のまわりの様々なところにプラスすることで、「くらしをより良く」している様子をコーポレートカラーの積み木に見立てて表現しました。



株式会社 ADEKA
〒116-8554 東京都荒川区東尾久七丁目2番35号
TEL. 03-4455-2801